

**製品名: NMDA $\epsilon$ 4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14761**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	170kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GRIN2D
別名	GRIN2D; GluN2D; NMDAR2D; Glutamate [NMDA] receptor subunit epsilon-4; EB11; N-methyl D-aspartate receptor subtype 2D; NMDAR2D; NR2D
遺伝子 ID	2906.0
SwissProt ID	O15399
免疫原	抗血清はヒト GRIN2D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 671-720

**背景**

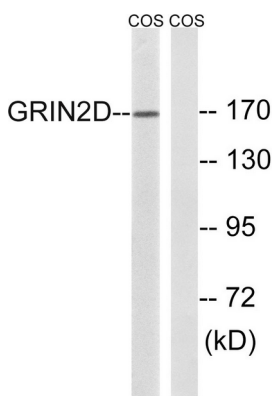
N-メチル-D-アスパラギン酸 (NMDA) 受容体は、イオンチャネル型グルタミン酸受容体の一種です。NMDA チャネルは、特定の種

類の記憶や学習の基盤となると考えられているシナプス伝達効率の活動依存的な上昇である長期増強に関与することが示されています。NMDA 受容体チャンネルは、主要な受容体サブユニットである NMDAR1 (GRIN1) と、4つの NMDAR2 サブユニット (NMDAR2A (GRIN2A)、NMDAR2B (GRIN2B)、NMDAR2C (GRIN2C)、および NMDAR2D (GRIN2D)) のうち1つ以上からなるヘテロ多量体です。[RefSeq 提供、2010年3月]、機能: 高いカルシウム透過性とマグネシウムに対する電圧依存的な感受性を有するグルタミン酸依存性イオンチャンネルの NMDA 受容体サブタイプ。グリシンを介する。類似性: グルタミン酸依存性イオンチャンネル (TC 1.A.10) ファミリーに属する。サブユニット: INADL および DLG4 の PDZ ドメインと相互作用する (類似性による)。ゼータサブユニット (GRIN1)、イプシロンサブユニット (GRIN2A、GRIN2B、GRIN2C、または GRIN2D)、および第3サブユニット (GRIN3A または GRIN3B) からなるヘテロ多量体チャンネルを形成する。、

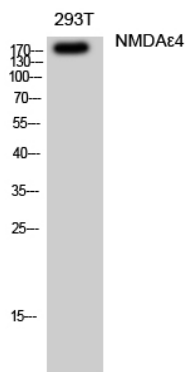
## 研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;長期増強;アルツハイマー病;筋萎縮性側索硬化症 (ALS);

## 画像データ



GRIN2D 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した NMDAε4 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析